

第39回ろうきん杯学童軟式野球山形県選手権大会 開催要項

1. 目的 心身共に健全なる学童の育成と更なる健康増進及び地域振興に寄与することを目的とする。
2. 主催 山形県野球連盟
3. 主管 酒田地区野球連盟
4. 協賛 東北労働金庫山形県本部
5. 後援 山形県、(公財) 山形県スポーツ協会
酒田市、酒田市教育委員会、(公財) 酒田市スポーツ協会
山形県野球スポーツ少年団協議会、ナガセケンコー(株)、(株) 共同写真企画
山形新聞・山形放送、(株) 山形テレビ、(株) テレビユー山形
(株) さくらんぼテレビジョン
6. 会場 SHONAI ENERGY スタジアム(酒田市営光ヶ丘野球場)
7. 期 日 2026年8月1日(土)～2日(日) ※原則として雨天順延
8. 出場チーム 山形2、新庄1、米沢1、鶴岡1、酒田1、開催地(酒田地区)1
前年度開催地(鶴岡地区)1の計8チームとする。
9. 出場資格 (1) 全日本軟式野球連盟規程第6条第3項(2)学童部に規定する学生で編成されたクラブチームでなければならない。
(2) 1チームのメンバーは、選手25名以内で監督・コーチを除いて編成すること。参加申込書には、従来通り監督・コーチは記載すること。
(3) チーム責任者(引率責任者)として、成人1名を届け出なければならない。
(4) 各地区予選会で優勝し、当該地区連盟会長の推薦を受けたチームまたは地元地区連盟管内から当該地区連盟会長の推薦を受けたチームであること。
10. 適用規則 2026年公認野球規則及び(公財)全日本軟式野球連盟大会規則並びに本大会特別規則を適用する。
11. 試合方法 (1) 監督・コーチはベンチに入らず、選手自らが協力して試合に臨むこととする。また、監督・コーチはベンチ外(スタンド等)においても、指示等を出すことは禁止とする。
(2) トーナメント方式とし全試合6回戦とする。暗黒、降雨などで6回まで進まなくとも、5回を終了すれば試合は成立する。
(3) 健康維持を考慮し、5回終了前であっても試合開始後1時間30分を経過した場合は新しいイニングに入らない。均等回をもって勝敗を決する。
(4) 6回を完了して同点の場合、または、試合開始後1時間30分を経過して同点の場合は、いずれもタイブレーク方式により勝敗を決する。
(5) 全試合4回以降10点差、5回以降7点差のコールドゲームを適用する。
(6) 選手の健康を考慮し、投手の投球制限を設ける。1試合かつ1日の投球数は70球以内とする。4年生以下は60球以内とする。

12. 使用球 全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールJ号を使用する。
13. 大会規律 不正出場その他規律違反に対しては、(公財)全日本軟式野球連盟規則及び細則により処理する。
14. 参加申込 **参加申込みは試用期間(過渡期)のため、下記2つの申込みとする。**
①出場資格を得たチームは、所定の参加申込書を作成し、所属地区連盟を経由し、**7月23日(木)までに必着**するようメール送信にてエクセルデータを送ること。なお、会長印は不要とする。チームから直接送られた場合は正式申込みと認めません。
酒田地区野球連盟 理事長 川守田 義則 yoshinori.kawamorita@gmail.com
②**各地区野球連盟事務局は、代表チームが決定したら速やかに県連事務局へ報告する。報告様式は、山形県予選会代表チーム報告様式を用いる。**各チームには、「野球ねっと」に登録している担当者あてに大会申込みの招待メールが送られる。チーム担当者は「野球ねっと」を通じて大会参加の申込み申請を行うこと。申請後は、各地区野球連盟の承認および県連の承認を得て大会参加が完了となる。**申込締切日は7月23日(木)とする。**
15. 参加料 20,000円とする。
16. 組合抽選 メンバー交換時に試合球3個(12の大会使用球参照)を持参すること。
この大会の組合せは、2026年2月21日県連評議員会の席上において、厳正に抽選をして決定したものであり、その結果は別紙のとおりである。
17. 監督主将会議 行わない。ただし、**午前8時00分より大会に係る説明会を実施する。全チーム責任者および主将は会議室に集合すること。**
18. 開会式 午前8時30分より行う。全チーム参加願います。
19. スポーツ安全傷害保険の加入について
スポーツ傷害保険の加入を義務付けることを特に徹底すること。
未加入チームは出場できないこととする。
20. 表彰
第1位 賞状、優勝旗(持ち回り)、優勝杯(持ち回り)、優勝盾、メダルを授与する。
第2位 賞状、準優勝盾、メダルを授与する。
第3位 賞状を授与する。(準決勝敗退2チームへ授与)
参加チーム 参加賞を贈呈する。
21. その他
(1) 参加申込書中の「守備」欄は、投手、捕手、内野手、外野手を記入のこと。
また、守備位置にかかわりなく、主将以下は背番号の若い順で記載のこと。
参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は原則認めない。
(参加申込書に学童コーチの有資格者・登録番号を記載し提出すること。)
(2) ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した選手10名以上25名以内と、チーム責任者(引率責任者)、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。**監督およびコーチのベンチ入りは認めない。また、ベンチ入りする大人は、戦術等の指示をしてはならない。**
ユニフォームの左袖には、都道府県名を入れること。
熱中症対策として、保護者5名を必ずベンチに入れること。

- (3) チーム責任者18歳以上とし、チームの引率、応援団等を含め、すべての責任を持つこと。
- (4) 打順表（登録された選手全員を記入したもの）の提出は、初日の第1試合で対戦するチームは開会式があることから試合開始予定時刻の45分前とする。
第2試合以降は前の試合の3回終了時にチーム責任者と主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。
2日目の第1試合は試合開始予定時刻の30分前とし、第2試合は前の試合の3回終了時とする。なお決勝戦は、第2試合終了の15分後とする。
- (5) 用具及び装具は、公認野球規則で規定されているもののほか、連盟公認のものを使用しなければならない。
- (6) 捕手用のマスク（スロートガード付）は、SGマークのついた連盟公認のものを使用しなければならない。
- (7) 捕手は、連盟公認のレガース、プロテクター、SGマークのついた捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用しなければならない。捕手のヘルメットは、マスクと一体になっているものの使用は禁止とする。控えの捕手も同様とする。
- (8) 打者、次打者、走者、ベースコーチは、SGマークのついた連盟公認のヘルメットを着用しなければならない。なお、打者、次打者、走者、ベースコーチはすべて両側にイヤーフラップのついたものとする。
- (9) 一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。一般用バットであっても上記以外の木製・金属製・カーボン製・複合（金属／カーボン）バットについては、使用制限は行わない。
- (10) 熱中症予防対策としてWBGTを適宜計測する。2回終了時と4回終了時に、3分間のクーリングタイムを設ける。クーリングタイム時は、ベンチに入り休息すること。
- (11) 金属製スパイクの使用を禁ずる。
- (12) 本大会に参加する際、マイナ保険証等、これに準ずるものを持参する。
- (13) 本大会は、指名打者ルールを使用することができる。
ただし、二刀流選手を採用しない。
- (14) シートロックは行わない。
- (15) 球場における試合前の練習においても、監督・コーチの指示等は認めない。
選手の自主性を見守ってください。
- (16) 前年度優勝チーム（鶴岡地区）の地区代表は、優勝旗・優勝杯を持参のこと。
- (17) 原則として雨による順延もあるので、学校との連絡等を密にすること。
- (18) 開会式でのチームプラカードは、各チームで準備すること。
- (19) 開会式での選手宣誓は、開催地区の第一代表チームの主将とする。